

本科 1 期 5 月度

解答

Z会東大進学教室

高2難関大英語 S

高2難関大英語



## 4章 無生物主語構文

### 問題

#### 【1】

##### ポイント

英語は日本語より無生物を主語にした文を多く用いると言われている。ここではその基本的なパターンを確認していこう。

##### 解答・解説

- (1) sickness [illness] / prevented [kept ; stopped] / from
- 「夫が病気だったので妻は演劇に出かけることが出来なかつた」→「夫の病気が妻が演劇に出かけることを妨げた」とする。
  - keep [prevent ; stop] A from …ing 「A が…するのを妨げる」
- (2) reminds / of
- 「この写真を見る時はいつでも、学生時代を思い出す。」→「この写真是いつも私に学生時代を思い出させる」とする。
  - remind A of B 「A にBを思い出させる」
- (3) good / make / feel
- 「もし十分に眠れば気分が良くなるでしょう」→「十分な眠りがあなたの気分を良くする」とする。well は副詞なので good とすることに注意。
  - make A do 「A に…させる」
- (4) made
- 「なぜあなたは気持ちを変えたのか」→「何があなたの気持ちを変えたのか」と読み換える。= Why did you change your mind? / How come you changed your mind?
- (5) found [saw] / flying
- 直訳は「翌朝が、彼が太平洋上空を飛行している姿を見出した。」となる。英語では時間などを主語にして find や see を動詞に用いた英文を作ることがあるがこれは1つのパターンとして覚えていく必要がある。和訳する時にはOを主語にしていくほうがよい。つまり「翌朝、彼は太平洋上空を飛行していた。」と訳すことになる。

#### 【2】

##### ポイント

整序英作文において無生物主語構文が問われる頻度は高い。日本語に惑わされず正確に主語をつかむことが肝要である。

##### 解答・解説

- (1) His love of the band brought him to the concert many times. [went が不要]
- 「そのバンドへの愛情が、彼をコンサートへと何回も連れて行った。」と考えればよい。
- (2) His pride did not allow him to do anything disgraceful. [was が不要]

- 「彼のプライドは、彼が不名誉なことをすることを許さなかった。」と考える。
- (3) The thick mist kept us from seeing the temple in the distance. [preventing が不要]
  - 「深い霧が、私たちが遠くの寺を見るのを妨げた。」と考える。
- (4) The incessant pain kept me awake all night long. [I が不要]
  - 「絶え間ない痛みが、私を一晩中起こし続けた。」と考える。
- (5) Ten minutes' bus ride will take you to the museum. [if が不要]
  - 「10 分間のバスの乗車があなたを博物館へと連れて行くでしょう」と考える。
  - take A to B 「A を B に連れて行く」

### 【3】

#### ポイント

無生物主語構文は目的語である人を主語にして訳すとよいと言われるが、(1)～(4)では人を主語とする英文として書き換えてみよう。さらに、(5)では時間を主語にして see / find を動詞にする構文を確認しよう。

#### 解答・解説

- (1) Thanks to this magnetic levitation train, we will be able to travel with far greater rapidity.  
「このリニアモーターカーのおかげで私たちははるかに速く移動できるようになるだろう。」
- (2) She was so tall that she stood out in a crowd.  
「背が高かったので、彼女は群衆の中で目立った。」
- (3) If you adopt advanced technology, you will be free from all this trouble.  
「進歩した技術を採用すれば、こういうすべてのトラブルはなくなるだろう。」
- (4) We learn from the Internet instantly what is going on in the world.  
「世界で起こっていることは、インターネットから直ちにわかる。」
- (5) The year 1789 saw the French Revolution.  
「1789 年にフランス革命が起こった。」【1】(5) 参照。

### 【4】

A.

#### 全訳

過去 200 年間の科学と発明の歴史を表面的にちょっと眺めてみても、進歩というものが、人間の生活の法則の 1 つではないと考えるのが難しくなる。

B.

#### 全訳

日本文学は、その美しさと豊かさにもかかわらず、西欧ではまだ十分に知られていない。このように軽視されている理由を明らかにするのは簡単である。日本語は難しいので、少数を除いて外国人は皆、原文で日本文学に接することができないのである。

C.

**全訳**

数年前の石油危機によって、すべての人々が、工業国がこの重要な燃料に危険なまでに依存していることを強く認識し、地球上の資源が有限で、いつの日か使い果たされてしまうということを痛感した。世界中で知られている石油の埋蔵量は今後何十年もの間は持ちこたえるけれども、石油に代わるエネルギーがすでに探し求められている。

**【5】**

**解答**

- (1) 「全訳」の下線部①, ②参照。  
(2) (c), (h) が○, その他は全て×

**解説**

(1)

- ① ◇ thus 「このように」  
◇ natural geographic isolation at first, compounded later by human design, forced the Japanese to … 「最初は地理的な孤立、後には人間の意図も混ぜ合わされて、日本人は…せざるをえなかった」  
○ geographic [dʒɪəgræfɪk] 「地理的な」 *cf. geography*  
○ isolation 「孤立」 *cf. isolate*  
○ compounded later by human design → isolation を修飾する形容詞節。  
○ 前に which is を補って考える。  
○ compound 「～を合成する；混ぜる」  
○ human design 「人間の意図」ここでは鎖国政策のこと。  
○ force O to do 「Oに無理やり…させる」  
= oblige, compel, make  
◇ live more separately from the rest of the world than any other ~  
「他のいかなる～よりも世界の残りの地域から離れて生活する」  
○ 比較級 than any other ~ 「他のいかなる～よりも…」  
○ 実質上の最上級を表す比較級  
○ the rest of ~ 「～の残り」  
◇ comparably large and advanced group of people 「(日本と) 同等に規模が大きく進歩した人間集団」《直訳》  
○ comparably 「同等に」 *cf. comparatively* 「比較的；かなり」  
② ◇ combination of A and B 「AとBとの結合；組み合わせ」  
◇ artificial 「人工の；不自然な」  
*cf. art* 「①美術；芸術 ②技術；要領 ③人工；人為 ④人文科学」  
◇ enabled them more than most other peoples to ~ 「他のほとんどの国民以上に、日本国民が…することを可能にした」《直訳》  
○ enable O to do 「Oが…することを可能にする」

- O = them = the Japanese
- peoples :「人々」ではなく「国民」の意を表すことに注意する。「人々」の意の場合, people は集合名詞で複数形にはならない。
- ◇ on one's own 「一人で；単独で」

(2)

- (a) 「日本本土と朝鮮との文化的な隔たりはドーバー海峡の幅のほぼ5倍である。」
  - ℓ. 2 The more than a hundred miles ~ 参照。地理的な距離が5倍であって、文化的距離とは無関係。
- (b) 「過去300年の間、日本は主にその手ごわい海のせいで世界のあらゆる主要国の中で最も孤立した国であった。」
  - ℓ. 7 Throughout most of its history ~ 参照。300年間という記述はない。
- (c) 「日本人が外国から孤立している間に、世界の各地において国際間や地域間の動きがますます活発になっていった。」
  - ℓ. 14 It was a unique experience at a time of quickening international and interregional relations elsewhere in the world 「その経験〔2世紀以上もの間外国と接触しないでいたという経験〕は世界の他の各国において国際関係や地域間の関係が活発化している時代に、日本独特のものであった」に合致。
- (d) 「200年以上にもわたる人為的鎖国によって日本人は経済的に独特の国民になった。」
  - ℓ. 20 Certainly the Japanese ~ 参照。economicallyではなく culturallyと書かれている。
  - allow O to do 「Oが…することを許す」
- (e) 「日本本土と朝鮮を隔てている長い距離は、16世紀における日本の支配者達が日本国民を無理やり外国から離れて生活させはじめたのに有利であった。」
  - ℓ. 12 For more than ~ 参照。鎖国が開始されたのは17世紀（1638年）である。
  - force O to do 「Oに無理やり…させる」 (= oblige ; compel ; make)
- (f) 「今日日本は非常に近代化し西洋化しているので、もはやその独特的文化は保たれていない。」
  - ℓ. 22 Even today, Japan occupies a unique spot in the world as ~ 「今日でも日本は～として世界における独特的地位を占めている」に反する。
  - so ~ that … 「非常に～なので…」
- (g) 「世界の他の国々から孤立していたために、日本の文化事情は同じくらい進歩した他のどの大国よりも劣っていた。」
  - 本文に記述なし
  - bring about ~ 「～を引き起こす」
  - inferior to that of any other ~ 「他のいかなる～の文化事情よりも劣って」
  - inferior to ~ 「～より劣って」 ⇔ superior to
  - that = a cultural situation 《語の繰り返しを避ける用法》
- (h) 「海洋貿易が大規模に栄えるまでは、外国からの影響の大部分は朝鮮と中国の2国を通して日本にやってきた。」

- ℓ. 8 Until the dawn of oceanic commerce ~ 参照。ℓ. 9 に influences from further abroad came to Japan only as filtered through these two lands 「さらに遠くの外国からの影響は、この2国を通して濾過されてからしか日本には及ばなかった」とある。
- (i) 「日本の高度な文明はもともと中国と朝鮮から來たので、日本とこの2国の文化様式は非常によく似ている。」
- ℓ. 21 diverging sharply even from the patterns in nearby China and Korea 「近隣の中国や朝鮮の様式とさえも非常に異なって」とある。

### 全訳

英國諸島が旧世界の西端の沖合にあるのとほとんど同様に、日本は旧世界の東端の沖合にあるが、英國よりも日本のほうがかなり離れて位置している。日本の本土を朝鮮半島から隔てている 100 マイル以上の距離は、ドーバー海峡の幅の約 5 倍である。原始的な航海時代にはこの距離がかなりの障壁になっていたし、日本と中国の間にあるおよそ 450 マイルに及ぶ外海はさらにいっそう越えがたいものであった。

歴史上ほとんどの時代を通じて、日本はおそらく世界のあらゆる主要国家のうち最も孤立した国であった。16世紀に海洋交易が始まるまでは、日本は最も近い2ヶ国、つまり朝鮮与中国とに常に接触していたわけではなかったが、さらに遠くの外国からの影響はこの2国を通してしか日本には及ばなかった。さらに近代になると、日本の支配者達は外国に対する確固たる鎖国政策を自国に定着させるために、その地理的孤立という特徴を利用した。1638年から1853年にいたる2世紀以上もの間、日本人は外国との接触からほとんど完全に隔離されていた。これは世界の他の各国において国家間の関係や地域間の関係が活発化している時代においては、類のない経験なのであった。

①このように、最初は地理的に離れているために、後には人間の意図もそれに混ぜ合わされて、日本国民は、日本と同等に規模が大きく、また同等に進歩した他のいかなる人間集団よりも、世界の他の地域からより離れて生活せざるを得なかつたのである。②あるいはまた、この地理的な孤立と人為的な孤立が結びついたことによって、他のほとんどの国民よりも、日本国民は独立で、そして自分たちのやり方で発展することができたとも言えるだろう。確かに、歴史を通して日本人は、文化的に他と非常に異なった国民であり、彼らの高度な文明の大部分の発祥地である近隣の中国や朝鮮の様式とさえもかなり異なっている。今日でさえも、日本は非西洋的な文化的背景を持つ唯一の主要な産業国、そして超近代国家として世界で独特の地位を占めている。

### 注

- ℓ. 1 ◇ off 「離れて；沖に」  
◇ in much the same way ~ 「～なのとほとんど同様に」
- much = almost  
○ 様態を表す way (= as)
- ℓ. 2 ◇ its western end 「旧世界の西端」  
○ it = the Old World  
◇ considerably 「かなり」  
cf. considerate 「思いやりのある」

- ℓ. 3 ◇ roughly 「およそ」  
   ◇ five times the width of ~ = five times as wide as ~ (～の 5 倍の幅がある)
- ℓ. 4 ◇ primitive 「原始的な；初期の」  
   ◇ navigation 「航海；飛行」  
   ◇ it constituted a considerable barrier 「それ〔この距離〕がかなりの障壁になっていた」
- it = the more than a hundred miles that separate the main Japanese islands from Korea
  - constitute 「～を構成する；引き起こす」
- ℓ. 7 ◇ isolated 「孤立した」
- ℓ. 8 ◇ Until the dawn of oceanic commerce in the sixteenth century 「16世紀の海洋貿易の夜明けまでは → 16世紀に海洋貿易が始まるまでは」  
   ○ dawn [dɔ:n] 「夜明け；日の出」
- ℓ. 9 ◇ it was not always in contact with its two closest neighbors, Korea and China 「日本は最も近い2ヶ国、つまり朝鮮と中国と常に接触していたわけではなかった」  
   ○ not always … 「常に…なわけではない」〔部分否定〕  
   ○ in contact with ~ 「～と接触して」  
   ○ its two closest neighbors と Korea and China は同格  
   ◇ influences from further abroad came to Japan only as filtered through these two lands 「さらに遠くの外国からの影響はこの2国を通して濾過されてからしか日本には及ばなかった」  
   ○ influence 「影響」  
   ○ further 「さらに遠くの」 far の比較級  
   ○ only as filtered through these two lands ⇌ only when filtered through these two lands (これらの2国を通して濾過されてからのみ)
- ℓ.11 ◇ Japan's rulers took advantage of their natural geographic isolation to fix on the country a firm policy of seclusion from the outside world 「日本の支配者達は外国に対する確固たる鎖国政策を自国に定着させるために、その地理的な孤立を利用した」  
   ○ take advantage of ~ to do 「…するために～を利用する」  
   ○ fix O on ~ 「Oを～に定着させる、固定させる」のOが長いために後置された形。  
   ○ seclusion 「隔離；遮断」 cf. seclude
- ℓ.14 ◇ a time of quickening international and interregional relations elsewhere in the world 「世界の他の国々において国際関係や地域間の関係が活発化している時代」  
   ○ quickening は relations を修飾する現在分詞。  
     cf. quicken 「～を速める；活気づける」
- ℓ.21 ◇ distinctive 「特色のある」 cf. distinction 「区別；差別；特質」  
   ◇ a people : ここでは「国民」の意であることに注意。  
   ◇ diverging sharply even from the patterns in nearby China and Korea, from which

much of their higher civilization originally came 「彼らの高度な文明の大部分の発祥地である、近隣の中国や朝鮮の様式とさえも非常に違う」

○付帯状況を表す分詞構文。

○ …, from which much of their higher civilization originally came : nearby China and Korea に補足説明を加える非制限用法の関係代名詞節。

cf. much of their higher civilization originally came from nearby China and Korea

○ their higher civilization 「日本国民の高度な文明」

○漠然と程度の高いことを表す比較級（絶対比較級）

ℓ.23 ◇occupy 「～を占める；①職業 ②占有 ③占領」

cf. n. occupation

◇spot 「地位 (= position)」

◇as ~ 「～として」《前置詞の as》

## 【6】

### ポイント

無生物主語構文で使用される動詞について演習を行う。

### 解答・解説

(1) a 「不注意な運転は命取りになるかもしれない。」

○ cost O<sub>1</sub> O<sub>2</sub> 「O<sub>1</sub> に O<sub>2</sub> という犠牲をかける」

(2) d 「その事件をきっかけに彼女は過去の人生を振り返ってみた。」

○ make や have は使役動詞であり目的格補語に原形をとるはずである。take は「必要とする」という意味であり、ここでは合わない。

○ cause A to do 「Aに…させる」

(3) c 「英語の知識が多少あれば海外でうまくやっていくことが出来るだろう。」

○ S enable A to do 「SはAが…するのを可能にする」 → 「SのおかげでAは…できる」

(4) b 「貧困のため彼女はやむなく勉学を諦めた。」

○ compel [force; oblige] A to do 「強いてAに…させる」

○ allow A to do 「Aが…するのを許す」

○ compromise 「妥協する」

○ impoverish 「貧しくする」「貧困が貧しくする」ではトートロジーとなる。

(5) a 「ハリケーンがかなりの損害を与えた。」

○ occasion は名詞では「機会；理由」等の意味になるが、動詞で「引き起こす」という意味がある。堅い文語表現であるが複数の大学で過去に出題されている以上、注意が必要である。

○ refine 「洗練させる」

○ allot 「割り当てる」

○ affiliate 「手を組ませる」

## 【7】

### ポイント

無生物主語構文の作文力向上のため、ヒント付きの英作文に取り組んでみよう。

### 解答・解説

- (1) Suddenly a good idea occurred to me.  
○ S occurs to A 「AはSを思いつく」  
*cf.* It occurs to A that S V. 「AはSがVだと思いつく」
- (2) These pictures will give you a very good idea of the situation in the Middle East.  
○ 「これらの写真を『見れば』」とあるが、'Seeing these pictures ~'とする必要はない。動詞が give があるので第4文型を考える。目的語は一般人を表す you でよい (one や us でも可)。「情勢」は situation / condition(s) / a state of affairs など。「中東」は the Middle East. *cf.* 「西洋」the West, 「東洋」the East
- (3) His constant complaints aroused my rage [aroused rage in me].  
○ arouse 「呼び起こす」の使用を指示されているため、「彼の継続した文句が私の怒りを呼び起した」と読み換える。complaint「不満」, rage「怒り」
- (4) Just hearing [The mere hearing of] his boring jokes makes me very sad.  
○ the mere hearing of A という言い方は堅い表現であるが入試においてはたびたび見られている。  
*cf.* The mere sight of her face satisfied me. (彼女の顔を見ただけで満足した。)
- (5) Accurate tracking of a missile thousands of kilometers away would require radar of greater precision than any available today.  
○ track は「足跡を追う；探知する」という意味の動詞であるから、'accurate tracking of a missile' は「ミサイルを正確に探知すること」となる。  
○ any available = any (radar) (that is) available のように考える。  
○ radar 「レーダー」, precision 「正確さ」 *cf.* precise 「正確な」

## 【8】

### 解答

- (1) Go ahead, please. I'll soon catch up with you.  
(2) I have not been sleeping at all for two days. I have to catch up on my sleep.  
(3) Did you go in for sports?  
(4) Well done!  
(5) Go ahead.  
(6) Be my guest.

### 解説

- (1) 「どうぞお先に」にあたる決まり文句は、Go ahead (please).  
人に遅れたのを「追いつく」という場合は、catch up with を用いる。したがって本問は Go ahead, please. I'll soon catch up with you. となる。

※ただしイギリス英語では with を省いて catch up で「追いつく」という意味を表すことも多い。この場合は I'll soon catch you up. の語順になる点に注意。

- なお「遅れないでついていく」は keep up with; keep pace with; keep abreast of [with] で表す。

*Ex. The wounded soldiers could not keep up with the rest of the army.*

(負傷した兵士たちは軍についていくことができなかった。)

- (2) 「他者に追いつく」のではなくて、「自分自身の遅れを取り戻す」場合には catch up on を用いるのが普通。(with が全く用いられないわけではないが、数人のインフォーマントに確認したところ全員が on がよいと答えた) 本問がこの場合。

*cf. After I returned from vacation, I read the newspaper to catch up on the local news.*

(休日をとった旅行から戻ってきた後で、私は地元のニュースの遅れを取り戻すために新聞を読んだ。)

- (3) 「スポーツをする」に対する英語には

go in for	sports
take part in	
participate in	
practice	

を用いる。この中で in を用いるという条件に合うのは、go in for; take part in; participate in の3つだが、go in for が最も普通というのが米国人インフォーマントのコメントなので、Did you go in for sports? という決まり文句として覚えておくとよいだろう。

- in を用いるという条件からは外れるが、play sports というコロケーションが可か不可かでよく議論の対象となる。play は play badminton [football; tennis] の様に個々のスポーツについて使うのが普通というのが米国人インフォーマントのコメントなので、play sports を実際に用いるのは避けるほうが無難。
- go in for は入試で頻出する動詞なのでここでまとめておこう。

- ① = have (something) as an interest or a hobby

*Ex. What sports do you go in for? (どんなスポーツをしますか。)*

go in for stamp collecting (切手の収集を楽しむ)

- ② = specialize in

*Ex. This restaurant goes in for vegetarian dishes.*

(このレストランは素食料理を専門にしている。)

- ③ = take (an examination) or take part in (a competition)

e.g. go in for a magazine competition (雑誌の懸賞に応募する)

- (4) 「よくできました」に対応する決まり文句には

① Well done!

② Great!

③ Good [Nice] job!

などがある。本問の過去分詞を用いて2語でという条件に合うのは①の Well done! だ

けである。①, ②, ③はそれぞれ

(That's) well done!

(That's) great!

(You did a) | good | job!  
                  | nice

と、(　)の部分が省略された形と考えると理解しやすい。また、(　)を補った英語も正しい英語である。

(5) 日本語の「どうぞ」の意味は多岐にわたる。例えば、物を手渡す時の「どうぞ」なら、

Here you | are.  
              | go.

Here it is.

となる。

「どうぞお入りなさい」の意味の「どうぞ」なら、Come in(, please). となるし、何かをしようとしている相手に「どうぞやって下さい」という意味なら、(1)にもあったように Go ahead(, please). となる。

本問は go を用いて 2 語で、という条件がついているので Go ahead. が正解となる。なお Go right ahead. と right を入れて意味を強めた言い方もよくする。

Ex. "Can I turn on the air conditioner?" "Go right ahead."

(エアコンつけてもよいですか。) (はい、どうぞ。)

(6) 相手が何かをしたいと言つて許可を求めてきた時、「どうぞご自由に」という気持ちを伝える表現に、Be my guest. があり、my を用いてという条件も満たす。これは Go ahead. とほぼ同じ意味で用いられる決まり文句である。

Ex. "Do you mind if I use your telephone?" "No, not at all. Be my guest."

(電話お借りしてもいいかしら？) (もちろん。どうぞご自由に。)

### 今日の一言

Asking makes one appear foolish, but not asking makes one foolish indeed.

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。」

make O C の構造で、asking という無生物が主語（非人称主語）である。直訳は「聞くことが人を愚かに見せるが、聞かないことは人を実際に愚かにする」となるが、無生物主語構文は目的語である人を主語にして、無生物主語の部分を副詞的に訳すとうまくいく場合が多い。そのため、この英文も「聞くことにより人は愚かに見えるけれども、聞かなければ本当に愚かになる。」と訳すこともできる。